

ミスベリング・越前若狭会議 2nd STAGE

※ 越前若狭会議 概要

＜開催レポート＞福井河川国道事務所 調査第一課

日時：平成28年3月17日(木)
 時間：13:10～17:00
 場所：福井県国際交流会館
 多目的ホール
 主催：リバビズ大学
 in日野川流域交流会
 協力：福井河川国道事務所他
 参加者：約150名



※ プログラム ～福井の水辺が持っているポテンシャルの“気づき”から“利活用”の具体化へ推進～

講演1 忽那 裕樹 氏 水都大阪パートナーズ・プロデューサー



大阪中之島で、水辺のイベントで川に巨大な黄色いアヒルの模型を浮かべるなどしたアートイベントを紹介された他、イベントを成功させるためには、取り組む人たちどうしの協力体制を整えておくことが必要だと訴えました。

河川の規制緩和による水辺空間の活用例として、大阪の水辺のカフェや埼玉のキャンプ場など全国の事例を紹介。かつての水辺の賑わい取り戻すためにこれまでの管理された空間からみんなで築き上げていく空間にする必要があることを訴えました。



講演2 田中 里佳 氏 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課課長補佐

事例紹介1 『おしゃれなり・BAR』 田中 謙次 氏 (環境文化研究所CRO)



日野川河川敷（越前市）において、川のせせらぎを感じながらオープンカフェやバーを楽しむ催しを紹介。

事例紹介2 『川TERRACE』 野尻 寛二 氏 (リカーワールド華 ソムリエ)



足羽川（福井市）の水辺で、期間限定のワインバーを開催。

事例紹介3 『若狭の川ミッション』 熊谷 久恵 氏 (小浜市議会議員)



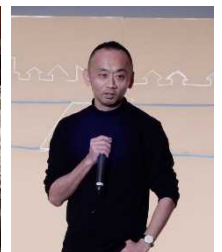
若狭の川の自然を活かした活動の抱負や、川下りなど今後のいろいろな活動予定などを紹介。

ワークショップ「参加者すべてで作り上げる越前若狭のかわまちづくり」

会場の参加者が、各テーブル5人程度のグループに分かれ、『尖った発想』を持ち寄って、越前若狭の川の未来像を巨大なパネルに描きました。恐竜観覧車や水上コンサートなど奇抜なアイデアが出され会場は大いに盛り上がりました。



ワークショップの様子



ファシリテーター
冨永 良史 氏

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 福井河川国道事務所 調査第一課
 〒918-8015
 福井市花堂南2-14-7 TEL 0776-35-2661



ワークショップの様子